

目標達成計画

作成日: 平成 31年 4 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	開所以来、火事や、地震等の自然災害での被害は発生していないが、今後大きな災害の発生は十分に考えられる。各入居者の重度化が進み、全介助の割合も高まり、災害時の避難実施の判断や避難場所、避難方法、避難に係る人員体制など、困難さが予想される。	入居者及び職員、設備等の状況を鑑み、災害に対してのリスクアセスメントにより、危険要因や対策を考え、実情にあった詳細な行動マニュアルや計画書を作成する。また、定期的な見直しの実施と改善をする。	災害において適切な対応や、避難実施時の安全で速やかな避難が実施可能となるように、実情にあったマニュアルや計画書などの見直し、緊急連絡網の再点検を行う。また、施設職員や法人内職員、家族、地域の協力体制などを整え、避難実施時の体制を確立する。施設職員に避難時等の行動マニュアル及び計画書によって周知徹底を図る。今後も、避難訓練等への参加の声かけを家族や地域へ行っていく。	12ヶ月
2	33	入所時に、重度化や終末期の事業所の方針や支援に関して説明を行っているも、年々、重度化も進み入院治療が必要な場合も多くなっている。 入居者の状態の変化に伴い、早い段階から本人・家族と話し合いながら、方針や支援の共有をすることで、家族の理解や安心にも繋がると思われる。	個々の重度化の度合いについて、利用者家族との共有化を図る。	個々の状態の把握と共有を、家族、施設職員、主治医と行い、重度化の度合いにあった計画をし、より良い支援を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

